

「マジミエ図書館Zラボ さあ！始めましょう」を開催しました

5月1日（日曜日）に、岸和田ブックフェスタ 2022 春のイベントとして、図書館ミーティング（マジミエ図書館Z）を開催しました。23名の方が参加してくださいました。

イベントオーナーである七野さんによる関連本の紹介の後、2つのグループに分かれて、理想の図書館サービスとは？こんな図書館になったらいいなというみなさんの意見を交換し、共有しました。

そして、どのような図書館をつかっていきたいかという具体的な案を出すためにも情報をインプットするため、参加者のみなさんと図書館の視察に行く先を決定しました。

みなさんからのご意見

- 図書館のレシートに企業の広告やイベントの宣伝を入れる
- 居心地の良さを重視して
- 情報は、無料でインターネットで手に入れるが、体験にはお金を払うので、図書館は体験する場にしたらいい。
- 子ども向けのくまちゃんだよりはあがるが、大人向けのものがない。
- 本との出会いをどうするか。良い本に出会う機会をどう与えるか。



居心地のいい図書館とは？図書館に滞在する時間はどれくらいなのか？現状、本を借りて帰るだけの人が増えており、一時間以内に帰る人が大半です。

岸和田市立図書館は、居心地のいい図書館、半日、一日中でもいてもらえるような図書館を目指しています。

以上のことも踏まえて多数決の結果、視察先は

- 守山市立図書館
- 長浜市立図書館

に決定しました。





7/8(金)

視察に行きました

守山市立図書館



守山市立図書館長、副館長に説明会をしていただきました。

30名ほどの中高生が図書館サポーターとなってイベントや特集コーナーの作成をしてくれているとのこと。個人で来てくれる子が多く、無理せず、来られる時に来てもらうようにゆるく参加してもらっているから多くの子どもたちが来てくれているのではないかとお話がありました。

参加者の感想

- ・立地が良く、周辺の環境を活かした設計（テラスや散歩道、大きい窓など）が素敵だった。
- ・学校や医療機関との連携・就労及び企業支援コーナーの設置など、ソフト面での活動が積極的でとても素晴らしかった。
- ・森というコンセプトに基づいて、世代によるゾーニングがなされており、一貫性ストーリー性のある空間づくりがなされているなど感じた。

長浜市立図書館



長浜市立長浜図書館は複合施設となっており、まちづくりセンターと融合したライブラリーフロアや、地域福祉センターフロアが同じ施設内にあります。長浜市立図書館館長に説明会をしていただき、その後は館内案内もしていただきました。調べもの相談（レファレンス）に力を入れるため、自動貸出機が導入され、予約本の受取りも貸出手続きも利用者自身でできるようになっています。

参加者の感想

- ・長浜の産業と文化を伝える地域のランドマーク化への細部のこだわりを強く感じた。
- ・図書館とは思えない程多機能な施設に圧巻。柱と柱の間を利用するなど椅子や机を配置して余す所なく建物を使っている。
- ・館長さんがおっしゃっていた図書館を作る際に”なぜこうしたのか？”という利用者からの疑問に対してきちんと説明できるように議論を重ねなければならないという言葉がとても心に残りました。